

20050720

平成 17 (2005) 年度 第 1 回 ODA 政策協議会資料

<議題の論点>

(おことわり) 第 1 回 ODA 政策協議会では、事前に準備しておりました議事次第が変更になりました。第 1 議題：貧困削減に対する外務省のビジョンについては時間の都合上、協議に至らず、次回以降の議題(案)となります。(事務局)

第 1 議題：貧困削減に対する外務省のビジョンについて

((特活) 日本国際ボランティアセンター 高橋清貴)

第 2 議題：アフリカ支援について(国別開発協力第 2 課)

- ①今年のアフリカ開発を巡る一連の動向
- ②我が国政府のアフリカ開発問題への具体的な取組
 - ・ G8 サミットに向けて発表した我が国のアフリカ支援策
- ③上記 1. 及び 2. の当方からの説明を踏まえ、出席者より質問等があれば適宜意見交換。

第 3 議題：MDG の中間レビューについて((特活) 関西 NGO 協議会 川村暁雄)

(とりわけ Goal 8) の達成状況についての中間報告作成およびそのプロセスについて)

①確認事項

2005 年 9 月にミレニアム開発目標の実施状況を検討するためのサミット (MDG+5) が開催されることになっており、そこでは国際的に合意された開発目標達成のためのグローバルなパートナーシップについての評価も行われる 1. このため、各国 2 では MDG の達成状況についての中間報告を作成している。この点については、2004 年 10 月 15 日の第二回定期協議会でも提起され外務省からは、「日本でどうするかは検討中だが、材料集めは行う」旨の発言がされた。この点につき、現在どのようにお考えか確認したい。

②提 案

もし作成されていないならば、早急に行うべき。なお、これまでの達成のどう評価するかで、今後の優先課題・改善点の判断がされる。中間報告の書き振りをどのようにするかについては、NGO としても意見を表明したい。今後早急に草稿を示し、NGO からのパブリック・コメントや公聴会を開催し、意見聴取を行うべきと考える。このさい公聴会をテレビ会議により開催することにより広範な参加の機会を保障されたい。

1..A/RES/58/291, para. 2.

2. 現在、少なくともベルギー、デンマーク、フィンランド、英国、オランダ、ノルウェー、スウェーデン及び EC が報告書を作成

第 4 議題：MDG s 達成に向けた取り組みについて(国際社会協力部政策課)

- ①MDG s 達成に向けて、本年すべきこと、2015 年を見据えてすべきこと
 - ・・・各目標達成のためにどのような取り組みが重要となるか
- ②MDG s 等国際開発課題に対する国内世論をいかに喚起すべきか
- ③MDG s の世界全体での達成に向けた日本の役割
 - ・・・アフリカの他、アジア地域についても意見交換する

以上